

令和3（2021）年度修士課程（外国人留学生選抜）問題 目次

専門試験		ページ
文化動態論	共生文明論	2～4
	アート・メディア論	5～8
	文学環境論	—
	言語生態論	—

令和3（2021）年度
大阪大学大学院文学研究科（修士課程／外国人留学生選抜）入学者選抜試験問題
文化動態論専攻 共生文明論コース 専門試験

[問題用紙は3枚です。]

(注意事項)

- ・ 添付されている問題は、問1、問2、問3である。3題すべてに解答すること。
- ・ 解答は、日本語で解答用紙に記入すること。
- ・ 解答用紙には、解答する問題番号などを、それぞれの解答の冒頭に記入すること。
- ・ 中辞典程度の英語辞書の持込可。ただし、電子辞書は不可。

(1枚目／3枚中)

問1 次の(a)～(e)から1つを選び、日本語で解答しなさい。なお、選んだ項目のアルファベットを明記すること。

(a) 日本史上の古代・中世・近世・近代のそれぞれの時代における歴史書の内容やその編纂のあり方について、具体的に述べなさい。

(b) 香料貿易の支配に着目して、16世紀のポルトガルの支配圏について述べなさい。

(c) ポストコロナ時代における観光産業の可能性について、具体的な事例を挙げながら論じなさい。

(d) マキヤーネルの言う「演出された本物」(staged authenticity)について、具体的な事例を示し、あなたの考えを述べなさい。

(e) アジアにおける近代国家の言語政策について、任意の国家・地域を選び、その政策と現在におよぶ影響について具体的に述べなさい。

問2 次の(a)～(f)から2つを選び、日本語で解説しなさい。なお、選んだ項目のアルファベットを明記すること。

- (a) 満州事変
- (b) ESG 投資
- (c) 驚異の部屋
- (d) 集合知
- (e) カーボン・ニュートラル
- (f) 魯迅 (1881～1936)

(2枚目／3枚中)

問3 次の文章を読んで、以下の問ア、問イに答えなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は下記のとおりです。引用部分は、“Tourism is more than the aggregate of human flows”から始まり “enrolling tourists into this national project.” で終わる2つの段落です。

—— Ian Rowen (2016) “The geopolitics of tourism: mobilities, territory, and protest in China, Taiwan, and Hong Kong,” *Annals of the American Association of Geographers* 106(2), pp.385-393 のうち 387 ページから引用（一部改変）。

問ア：下線部分（第1段落全部）を日本語訳しなさい。

問イ：第2段落を読んで、ツーリズムにおける個人と国家（中国）との関係性について論じなさい。

（3枚目／3枚中）

令和3(2021)年度
大阪大学大学院文学研究科(修士課程/外国人留学生選抜)入学者選抜試験問題
文化動態論専攻 アート・メディア論コース 専門試験

[問題用紙が2枚、別紙が2枚あります]
(1枚目/4枚中)

問1 次に挙げる10の用語もしくは固有名詞の内から自由に5つを選び、それぞれを5行程度の日本語で説明しなさい。

- | | |
|-------------------------|--|
| (1) 黒川紀章 | (2) 近代建築の五原則 |
| (3) VR AR MR SR XR | (4) documentary と non-fiction
(差異を明示すること) |
| (5) サイト・スペシフィック・パフォーマンス | (6) マハーバーラタ |
| (7) クローズ・アップ | (8) ドイツ表現主義映画 |
| (9) キャラクター・ダンス | (10) 人形振り |

問2

A. 下線を引いた以下の文章を読んで、後の問い(1、2)に答えなさい。

宇治の平等院鳳凰堂では1989年に発掘調査が行われ、創建当初(十一世紀中ごろ)の庭園の姿を示す遺構が発見された。この発掘によって明らかになったオリジナルの庭の形状は、調査前の現状とは大きく異なるものであった。この調査結果に基づき、本堂の北側に、新たに小島を1つと、それをつなぐ橋が一脚、復元された(別紙1:図1)。橋については、橋桁の杭の跡しか発見されなかったため、上部のデザインは推定復元となった。また庭全体に石を敷きならべて建設当初の州浜を再現したため、復元前と比べると、建物全体が石の厚みのふんだけ地面に沈み込んだ姿となった。建築史家鈴木博之はこの復元事業を批判し、「10円玉のデザインを変えよ」と主張した。

(出典:鈴木博之「10円玉のデザインを変えよ」『中央公論』2000年7月号(再掲:鈴木博之『都市の悲しみ:建築百年の私たち』、中央公論新社、二〇〇三年、一七〇―一七九頁)。

1: 宇治の平等院(別紙1:図2)に代表される「浄土(式)庭園」の特徴を説明しなさい。

2: 鈴木博之による、10円硬貨のデザイン(別紙2:図3)の変更要請(「10円玉のデザインを変えよ」)には、現状を大きく変更する復元行為への強い批判がこめられていた。鈴木はこの主張をふまえたうえで、歴史的遺跡や建造物の「復元」がはらみうる問題点について指摘し、それを解決するための方法を提示しなさい。その際、平等院鳳凰堂以外の具体例を、最低1つ引くこと。

(2枚目/4枚中)

- B. 「鬼滅の刃」はなぜこれほどの成功を収めたのか。自身の視点から分析しなさい。
- C. 20世紀以降の、あるいは今日の自然環境問題に対し、演劇（及びパフォーマンス・アート）はどのように関心を持ち、どのように対処しているのか、具体例を挙げながら説明しなさい。
- D. 高嶺剛は、『オキナワン ドリームショー』で、日本復帰前後の沖縄の日常をひたすら凝視することで、変動期にある社会のなかに埋もれていた「時間の経過」の側面を露見させた。以上のように、優れた映像作品が、ひとつの時代の貴重な記録となることについて、他にどのような例が考えられますか。具体的な作品名を挙げて、論じなさい。
- E. リアリティ・ショー（リアリティTV）の功罪について、その歴史を踏まえて考えるところを述べなさい。

(3 枚目／4 枚中)

■別紙 1

図 1：平等院鳳凰堂・復元された島（中央左）と、橋（中央）。（2014 年撮影）

著作権等に配慮し省略します

図 2：平等院鳳凰堂：（画像出典）

https://upload.wikimedia.org/wikipedia/commons/6/69/Phoenix_Hall%2C_Byodoin%2C_November_2016_-_01.jpg

著作権等に配慮し省略します

(4 枚目 / 4 枚中)

■別紙 2

図 3 : 10 円硬貨 : (図像出典) <https://upload.wikimedia.org/wikipedia/commons/8/86/10JPY.JPG>

著作権等に配慮し省略します

s://upload.wikimedia.org/wikipedia/commons/8/86/10JPY.JPG